

【経緯】

- 1/11(火) 佐世保市内で高校生のクラスター発生。週末の指揮トレ、更には定演の開催を懸念する声も事務局に寄せられました。練習終了後のミーティングで、このまま、感染対策を更に講じながら、定演に向けて準備を進めることを伝えました。事務局の独断ではありましたが、川崎団長にもご理解ご了承をいただきました。
- 1/14(金) 指揮トレや定演が実施するかどうか、団としての姿勢を皆様のにお示した方がよいとの声を受け、全ての出演者にメール送信。
- 1/15、16 予定通り、指揮トレ実施。コロナ絡みで参加を見合わせられたのは3名のみ。多くの皆様にご出席いただきました。
- 1/18(火) 本番に向けて、演奏の精度を上げる内容の練習を予定していましたが、感染が急拡大をしている状況のため、川崎団長より「話し合いの場を持ちましょう」とのご提案。今後のことも含めて2時間弱協議をし、公演中止を決めました。

【中止の意図】

何よりも大切にされたのは、出演者の気持ちでした。殆どの出演者がアマチュアで、本業を他にお持ちです。職場から行動自粛要請が出たり、身近に濃厚接触者が出たりする中、もし自分が感染した場合に職場や同居家族に与える影響への懸念と、オケの一員として果たすべき責任との狭間で悶々としながら参加しておられる方々の気持ちです。それはエキストラさんも団員も同じです。そんな気持ちで参加させていいのか、良いアンサンブルになるのか……。

演奏会の開催自体は、公的機関が示している指針に基づけば可能です。また、クラシックのコンサートでクラスターが発生する可能性は低いと思われます。が、現在の状況ではどこで感染したかの特定が難しく、市中感染した人がたまたま定演を聴きに來られた場合、佐世保市民管弦楽団の名前がマイナスイメージで広がってしまう恐れもあり、今後の活動に悪影響が出るかもしれません。

多くの出演者が定演をやりたい！という強い気持ちを持っているのは間違いないでしょうが、無理をしてやるべき時期ではない、という結論です。

【中止に伴う確認事項】

- 公演まで2週間を切ったので中止決定なので、指揮者、ソリスト、エキストラの皆様には謝礼全額と、これまでの練習にご参加いただいた分の交通費をお支払いする。
- 福田先生と小國さんをお迎えして、今回のプログラムでの演奏会は、後日是非実現したいが、同じ曲を長期間抱え続けるソリストは辛いかもしれない。まずは小國さんの意向を確認する → 御二方とも、是非！と言って下さいました。
- 既にチケットを購入された方への払い戻しには応じる。
- アルカスはコロナによるキャンセルの場合、キャンセル料がかからない。プログラムも、まだ印刷にかかっていない。が、前述の方々へのお支払いの他、既に支出しているものとして、チラシ・ポスター・チケットの印刷費、楽譜レンタル料、指揮トレ時の会

場費・楽器運搬費・宿泊費・弁当代等、楽譜送料などの諸雑費などがある。また、広告料も返金する必要がある。

後援会から30万円の助成金、県から40万円の補助金をいただいているが、県の補助金は一部返金になる可能性が高い。

よって、団員の皆さんの演奏会負担金(ノルマ)の返金は行わない。まだ納めておられない方は納入をお願いします。ただし、最終的な決算結果によっては、少しでもお返ししたいと思います。逆に賄いきれない場合は、負担金の追加徴収をするのではなく、楽器購入積立金の目的外使用のご相談をさせていただきます。

●それぞれで掲示をお願いしていただいたポスターは、速やかに撤去していただくか、可能であれば「中止になりました」の表示を上貼りしていただきたい。撤去するだけよりも上貼りをした方が、中止の告知ができる。上貼りは、プリントアウトが可能であればデータを送らせていただく。掲示場所を伝えていただければ、事務局員が貼りに行くことも可能。

●Cb.萬治さん、Fl.別府さん、P.C.の豊村さんの3人が、定演までで退団の予定だった。最後の定演への想いがあったが、本番が無くなってしまったので、29日夜にアルカス大ホールで、団員の参加できる人だけでもいいので集まって、今回のプログラムの合奏を行う。25日(火)の通常練習も、参加できるメンバーで定演の曲の合奏を行う。

【今後のこと】

●定演を中止にする基準のようなものが必要ではないか、との意見があったが、その時々で状況が異なるので、基準を決めるのは難しいと思われる。

●今年7月に予定している定演は、まだコロナが収束しきれておらず、また今回のような可能性があるため、通常定演は行わず、アンサンブル力の向上を目的とする室内楽的な演奏会、または団内発表会を実施する。(詳細後述)

●今年7月に指揮をしていただく予定だった原田先生には、もう少し待っていただく。小國さんの意向を確認してから、いつ、どの企画の定演を実施するか、検討する。

●原田先生に指揮をしていただく回は、今のところ「ボロ2」と「新世界より」の両方と、オープニングに何かをとということになっているが、原田先生からは「本当に両方するんですか？ するのであれば、間に管楽器の短いコンチェルトでも挟んで欲しい」と言われている。その辺の検討も必要。

【室内楽的な企画】

●お客様を入れる「演奏会」にするか、身内の「発表会」にするかどうかは要検討だが、団内発表会の形でも、後援会員、サポーターが聴きに來られることは認めてほしい。

●団内発表会にするとしても、トレーナーを呼んで指導を受けたい。

- 小さなグループが複数で来ることになるので、通常練習のやり方を工夫する。(部屋を複数借りる、時間帯を分けるなど。他の曜日・時間帯での練習を希望するケースもあり。)
- 管弦楽の合奏練習も、月 1 回程度でも良いので続ける。
- アンサンブルの編成は希望を出し合って検討する。足りないパートにエキストラを入れる場合、県外に方をお呼びするのは控えるべきでは？
- 小編成なので、会場は中ホール？ 現在大ホールは 7/3 本番で押さえているが、会場が変われば日程が変わる可能性もあり。